

イクボスアワード2014 受賞者の紹介

(五十音順)

イクボスアワード2014 グランプリ受賞

株式会社セプテーニ クリエイティブ部

部長 きんばら 金原 たかあき 高明 氏

- ◆ 育児支援プロジェクトの立ち上げを経営陣に提言し、全社横断の委員会を新設するきっかけを作るとともに、自身も委員会メンバーとして活動、全社的な育児支援に貢献
- ◆ 部下の仕事と育児の両立に課題が生じた場合、きめ細かな個別対応
- ◆ 業務の標準化を進め、各人のタスクをチーム内で共有するためのツールを導入したほか、業務の棚卸しを進めるなど、業務効率を上げるための工夫
- ◆ 育児休業制度やベビーシッター制度を自ら活用し、仕事と子育ての両立を実践

イクボスアワード2014 グランプリ受賞

株式会社ルミネ

取締役 開発企画部長 はしもと 橋本 のりふみ 範文 氏

- ◆ 勤務時間選択制度の適用を促進するため、会議等は制度適用社員が出席可能な時間内での設定を徹底
- ◆ 短時間勤務でも最大のパフォーマンスができるような仕組み（メイン・サブ任務分担・会議内容明確化・業務改善）と雰囲気をつくり、男性の育児に伴う突発休にも理解
- ◆ 会議資料は最小限とするなど、超過勤務や休日出勤に依存しない仕事の仕方を徹底
- ◆ 部下との日々のコミュニケーションを大切に、部下を尊重する姿勢

イクボスアワード2014 特別奨励賞受賞

グラクソ・スミスクライン株式会社 安全性管理部

部長 おおいし 大石 じゅんこ 純子 氏

- ◆ 男性社員に、育児休暇取得も「貴重な経験」として取得を奨励
- ◆ 在宅勤務を含め、いろいろな勤務形態や業務委託による工夫をするとともに、時間管理やタスク管理の考え方を取り入れることなどによって業務の効率化を推進
- ◆ タイムマネジメントを重視し、早く帰る部員を「残業しない人」ではなく「業務効率が良い人」と評価

イクボスアワード2014 特別奨励賞受賞

株式会社テレワークマネジメント

代表取締役 たざわ 田澤 ゆり 由利 氏

- ◆ 業務時間内に仕事が終わるよう、「あの仕事は後回しで、この仕事を先にして欲しい」などメリハリと優先順位をつけた指示出し
- ◆ 出産・育児の際にも柔軟に働き続けることができるよう、テレワーク（在宅勤務）制度を全社員対象に実施
- ◆ 在宅勤務をはじめとする「柔軟な働き方」に対応できる在席管理システムを開発するなど、労務管理上の工夫

イクボスアワード2014 特別奨励賞受賞

日本生命保険相互会社 浜松支社

支配人支社長 みき 三木 かつや 勝也 氏

- ◆ 育児休業取得の影響が大きいと考えられていた営業部長についても、早めに取得計画を立てさせ、不在時の応援体制を整える等により取得を支援するとともに、育児休業取得の効果を見だし、社内に発信
- ◆ 日頃から職員とコミュニケーションをとり、前倒しでの仕事を力強く推進
- ◆ スキルアップのための支社内の提案大会を企画するなど、実質的に業務効率を上げるための取組を促進